

(様式2)

議事録番号

提出 2022年 3月 19日

会合議事録

研究会名：企業利用研究会

日時：2022年10月27日13:30～16:45

場所：オンライン開催

出席者：計66名（所属機関：企業39、大学6、公的機関等9、個人1、JASRI11）

議事記録者／佐藤 眞直

議題：

SPRUC 企業利用研究会／第2回 SPring-8 利用推進協議会 放射光利用技術研究会
／第83回 SPring-8 先端利用技術ワークショップ

「SPring-8-IIに向けたビームライン再編案およびコンプトン散乱分析技術」

議事内容：

SPRUC 企業利用研究会と SPring-8 利用推進協議会 放射光利用技術研究会の共同開催のイベントとして本研究会を開催した。内容は企業利用研究会が前年度（2021年度）に実施した SPring-8 の企業利用の動向調査の報告に加え、SPring-8 で現在進行中のビームライン再編に関する最新状況報告と、産業界であまり利用されていなかったが、今後は有用になると思われる高度分析手法の紹介として「コンプトン散乱分析」についてその原理や応用例の紹介講演を企画した。

（1）「SPRUC 企業利用研究会 動向調査報告」 佐藤 眞直（JASRI）

SPRUC 企業利用研究会の SPring-8 の有効な利活用および成果創出最大化に関する2020年度アンケート調査結果が報告された。回答数は18件と少ないが、その内容としてはより具体的な提案を吸い上げることができている印象がある。

（2）「SPring-8 ビームライン再編・利用制度変更状況～産業利用の観点から見た最近の状況について～」 佐藤 眞直（JASRI）

SPring-8-II を目指した放射光利用技術高度化の一環として進められているビームライン再編および利用制度改変の状況に関して、特に産業利用の観点から、産業利用ビームラインに関する利用技術の再配置状況および利用制度の改

編案の説明が行われた。

(3) 「BL09XU、BL46XUにおける HAXPES 再編案」 小金澤智之 (JASRI)

前の報告の具体的な事例として、回折・散乱技術の BL13XU の改造の状況が示された。BL13XU の 4 つのハッチに設置されたそれぞれの回折装置の特徴と代表的な応用例が紹介され、装置再編がほぼ完了し 2022B 期よりすべての装置の利用が開始されていることが報告された。なお現状の問題点として、利用時間に対して課題申請数が多く、混み合っているとの報告があった。

(4) 「コンプトン散乱の概要」 櫻井 浩 (群馬大)

コンプトン散乱の原理と得られる情報に関して、非常に初歩的なことからわかりやすく説明がなされた。その後、リチウム二次電池を例に具体的な応用事例が紹介された。

(5) 「コンプトン散乱イメージングの応用事例」 辻 成希 (JASRI)

コンプトン散乱イメージングの歴史、特徴および BL08W における技術情報の説明の後、リチウムコイン電池と燃料電池内部のイメージング事例が紹介された。また 11 月 28 日に開催予定のコンプトン散乱イメージング講習会の案内もあった。